



# わたしたちの 大網白里市



【P23～24 解説シート】⑤

むかしの市のようにすをつたえるものに、どのようなものがあるのかな？

## 稲葉黙齋(いなばもくさい)の孤松庵跡(こしょうあんあと)

1781年江戸（今の東京）から稲葉黙齋という学者が清名幸谷(せいなごうや)に来て、孤松庵というじゅくを開き、近くの子どもや大人に勉強を教えるかたわら、自分や先ばいの考えをまとめました。この考えは「上総道学(かずさどうがく)」とよばれ、東金や成東でもさかんになりました。

出典：大網白里市教育委員会「わたしたちの大網白里市」平成29年



青い文字をクリックすると該当ページにリンクしています。

【博物館】⇒【大網白里市の文化財】⇒[【稲葉黙齋の孤松庵跡】](#)

【大網白里市を知る】⇒【歴史散歩道ウォーキングマップ】⇒[【上総道学の地めぐり】](#)

## 【歴史学習のポイント】

授業で習った文化財があれば、現地に行ってみることが一番ですが、遠方で訪問できなかつたり、感染症流行期で現地に行くことができないことも。そんなときは、[ウォーキングマップ](#)が公開されていたり、地図サイトで詳細に見たりすることもできます。パソコン上で旅を試みましょう！